



防護柵のコンクリート基礎ブロック

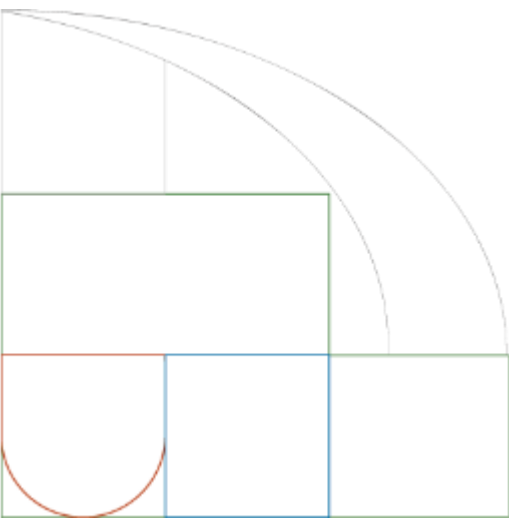
自在R連続基礎



施工手順書

《交差点タイプ》

2026年7月

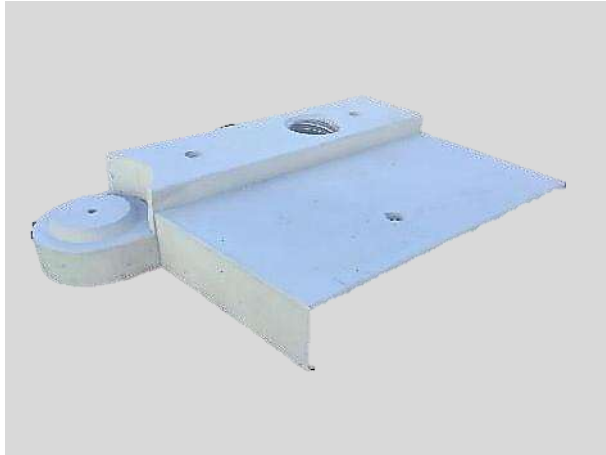




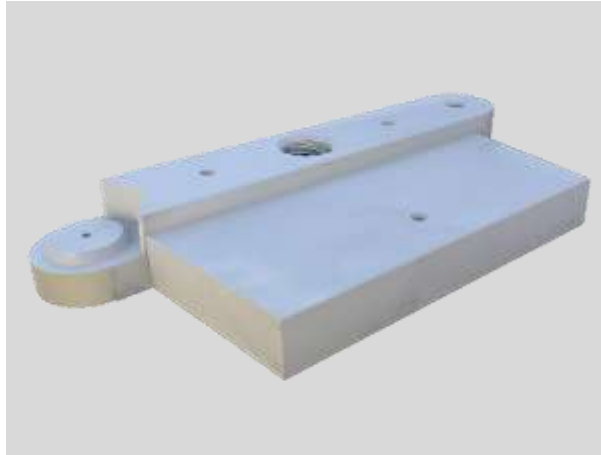
事前準備



1. コンクリート製品について



端部 A



基本



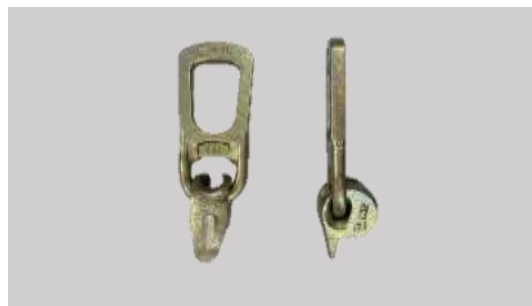
端部 B

※各製品の必要数量が揃っていることを確認してください。

※製品に破損・欠け・変形がないか、施工前に必ず確認してください。



2. 付属品について



Dリフト カップラー
1.3t用



チェーンスリング



ユニクロボルト
M27 t=200
(ワッシャー M27用)



T型レンチ
M27用

※各付属品の必要数量が揃っていることをご確認ください。



3. 製品1個当たりの付属品一覧

	Dリフトカップラー 1.3t用 ※	ユニクロボルト M27 t=200 (ワッシャー M27用)	T型レンチ M27用 ※	チェーンスリング ※
基本	3	1	1現場につき 1本	1現場につき 1本
端部A	3	-		
端部B	3	1		

※吊り具(Dリフトカップラー・T型レンチ・チェーンスリング)は、レンタル品となります。

※T型レンチは、1現場につき1本貸し出ししておりますが、ご要望があれば、2本以上の貸し出しもしております。



施工の流れ



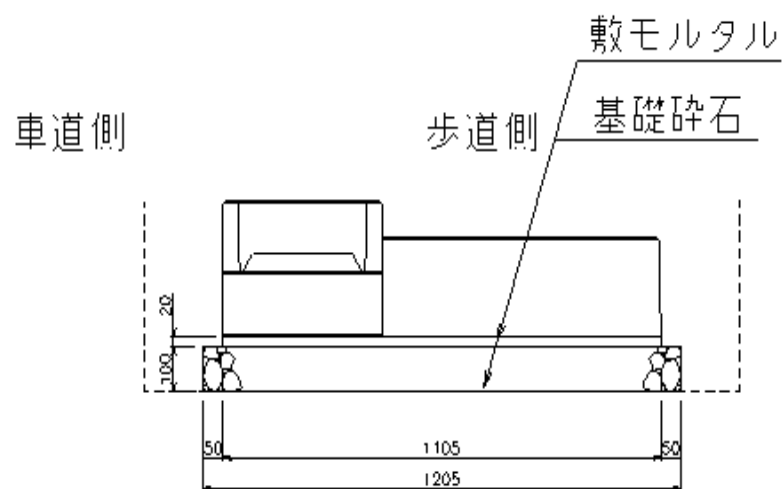


施工手順



1. 基礎工

- 設置個所を掘削してください。
- 掘削後、設計図に基づき基礎材を施工してください。
- 基礎材施工後、敷モルタルを布設してください。



※図は弊社推奨のものです。

※現場状況や設計図に従い、随時変更してください。

2. 製品の据付(Dリフトカップラーの取り付け)

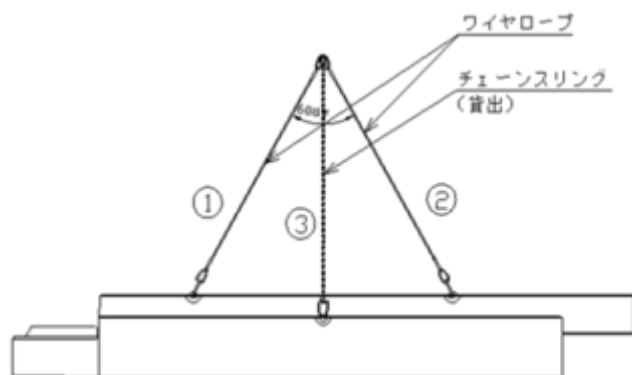
- 製品にDリフトカップラーを取り付けてください。
- Dリフトカップラーは、写真の赤丸印の出っ張りが3点吊りの支点側を向くように、取り付けてください。



※取り付け不足のまま吊り上げると、脱落・落下事故の原因になります。

2. 製品の据付(製品吊り上げ)

■製品吊り上げは3点吊とし、【吊りイメージ】を参照し、各規格に適したワイヤーにて施工してください。



【吊りイメージ】

	ワイヤーロープ
径	10mm以上
長さ	1.0m～2.0m以内

【ワイヤーロープ推奨規格】



※施工に使用するワイヤー及びチェーンは製品重量を参照し、荷重適用範囲にあったものを選定してください。

※ワイヤーは60°以下となるように選定してください。

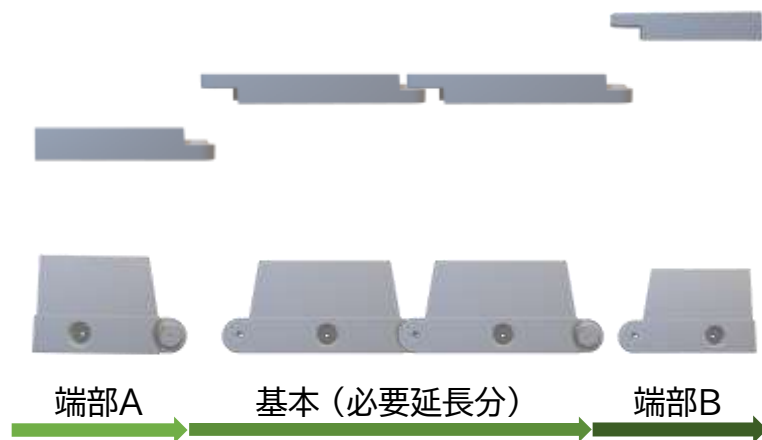
※基礎の水平が保てるように吊具を選定し、吊り上げ時は製品の下に入り込まないようにしてください。

※底版に用いるチェーンスリングは、製品の水平が保てるよう長さを調整してください。

2. 製品の据付

- はじめに「端部A」を起点として設置してください。
その後、必要延長分の「基本」を順次設置し、最後に「端部B」を設置してください。
- 各製品の連結穴を確認しながら、凹凸部が確実に噛み合うよう順次設置してください。

《 施工順序図 》



3. 製品同士の連結

■専用ボルト(M27×200)を挿入し、Tレンチを用いて確実に連結してください。



ユニクロボルト M27 t=200
ワッシャー M27用



T型レンチ
M27用

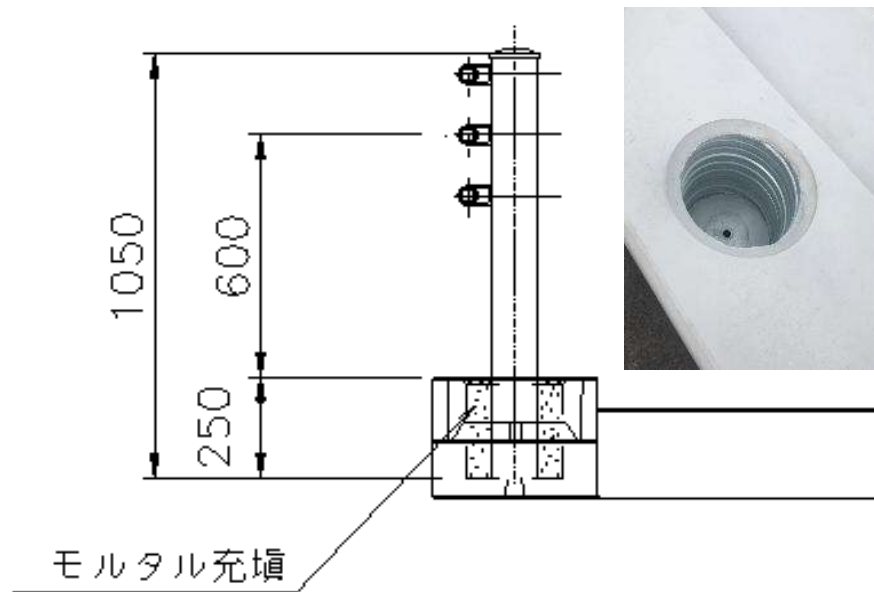


※締付け不足は連結不良の原因となります。



4. 防護柵の設置

- 支柱建て込み穴は、深さ250mmの底付き鋼管になっています。支柱を底に当たるまで建て込みその周りをモルタルにて充填します。



5. 埋戻し・完成

■製品据付後、周囲を埋戻し、十分に締固めを行ってください。

